

愛媛支部からの便り

京都大学経済学部同窓会の愛媛支部例会は、令和2年以降、コロナ禍により長らく中断していましたが、ここに来てコロナ禍が薄れ、全国的に各種集会の動きが緩和されてきたことから、当支部においても、やつと令和6年3月10日(日)に、令和5年度の恒例会(総会及び懇親会)を開催することができました。



は使い勝手の良い伊予銀行松山保養所としていましたが、コロナ禍等により使用禁止となったため、ANAクラウンプラザホテル松山に変更しました。

また、開催時間も料理人等の人手不足から、夕刻での開催が難しくなり、昼の時間帯での開催となりました。

○総会・懇親会
久しぶりの開催となった今回の例会は、9名の同窓生に参加していただきました。また、京都大学経済学部からは事務局の田村利恵さんに加わっていただき、おかげ様で賑やかな和気あいあいの会合となりました。

総会の冒頭では、支部長の村田武氏(昭和41年卒、元愛媛大学)から開会挨拶のほか、本会の継続や活性化などが提言されました。

続いて、同窓生の渡辺勇記さん(平成26年卒、元いよぎん地域経済研究センター、現在は同リスク統括部)より、コロナ禍で心配された観光産業について、愛媛、道後の動向などをお話いただき、皆さん、身近な事として興味深く聞き入りました。

続いて懇親会に移り、初参加の方や久しぶりに参加された方もいらっしやったことから近況をコンパクトに報告しあい、場を盛り上げました。また、事務局の田村さんには、紅一

点として、この場を明るく華やかにしていただきました。

最後に村田支部長を囲んで記念写真を撮り、次回の再会を誓って閉会となりました。

○メンバー
愛媛支部の例会参加者は、長年15名程度に留まっております。更にコロナ禍明けの今回は、残念ながら参加人数が9名と少なくなりました。また、依然として、参加者は高齢者が多く、先細りを懸念しております。

今後、若い同窓生への積極的な働きかけとともに、同窓会本部・他支部との連携を図って、同窓会への参加者増加に努めていきます。

令和2年度～5年度 愛媛支部会計報告書

収支決算書 (令和2.4.1～令和6.3.31)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
愛媛支部総会収入	16,000	支部総会経費	57,900
支部活動援助金	0	通信費	2,835
預金利息	24	事務費	0
(小計(5年度収入額))	16,024	(小計(5年度支出額))	60,735
前年度繰越金	631,579	剰余金(次年度繰越金)	586,868
合計	647,603	合計	647,603

財産目録 (令和6.3.31)

種類	預入先	金額
普通預金	伊予銀行本店営業部	586,868
合計		586,868

監査報告
収支決算書および財産目録について、監査の結果、正確且つ適正であることを認めます。

令和6年6月19日
会計監事 梶原正彦

○連絡先
現在、愛媛県に在住の皆さま、また転居等で今後ご来県の皆さまは、是非ともご連絡をいただき、愛媛支部同窓会の総会・懇親会への参加を願います。

愛媛支部連絡先

梶原正彦(昭和50年卒、元伊予銀行)
〒791-8084 愛媛県松山市石風呂町
TEL・FAX 089(952)4857
メールアドレス
kajiwara.masahide@maroon.plata.or.jp